



国立アートリサーチセンター設立記念シンポジウム  
アジア・欧州・米国の国立美術館の館長が登壇  
「ナショナル・アートミュージアムのいま」  
～2023年11月26日(日) 13:00～17:00 国立新美術館～

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター(略称:NCAR)(センター長:片岡真実)は、NCAR設立記念シンポジウム「ナショナル・アートミュージアムのいま」を、2023年11月26日(日)に国立新美術館(東京都港区六本木)にて開催します。

「ナショナル・アートミュージアム(国立美術館)」とは、各国の政府によって設立あるいは運営される美術館施設で、その運営モデルや国全体の美術館政策における位置づけは、きわめて多様です。また、国や地域における文化的多様性や包摂性、美術館活動の持続可能性に注目が集まる中、その役割や活動にも変化が求められています。

本シンポジウムではアジア、欧州、米国の国立美術館長らが集い、美術館政策や国立美術館としてのミッション、具体的なプログラムなどの事例を紹介しながら、「ナショナル・アートミュージアム」の役割や社会への貢献について共に考えます。

## シンポジウム概要

■タイトル:「ナショナル・アートミュージアムのいま」

■開催日時:2023年11月26日(日)13:00～17:00

■会場:国立新美術館 3階 講堂 (東京都港区六本木7丁目2-22)

■内容:

○開会挨拶 逢坂恵理子 独立行政法人国立美術館理事長/国立新美術館長

○国立アートリサーチセンター紹介 片岡真実 国立アートリサーチセンター長

○第1部「国家として求められる美術館政策」

モデレーター 片岡真実

○第2部「ナショナル・アートミュージアムのこれから」

モデレーター 田中正之 独立行政法人国立美術館理事/国立西洋美術館長

■登壇者:

ケイウィン・フェルドマン Dr. Kaywin Feldman

ナショナル・ギャラリー・オブ・アート(米・ワシントンD.C.)館長

ガブリエレ・フィナルディ Dr. Gabriele Finaldi

ナショナル・ギャラリー館長(英・ロンドン)

ユージン・タン Dr. Eugene Tan

ナショナル・ギャラリー・シンガポール館長(シンガポール)

※その他の登壇者は後日ウェブサイトにてお知らせします。

■参加定員:事前申込制 定員200人

※日・英同時通訳、手話通訳、日本語文字支援(UDトーク)あり

■参加費：無料

■申し込み方法：

<https://ncar.artmuseums.go.jp/events/globalcommunications/symposiums/post2023-9.html>

よりご確認ください。プレスの方は下記広報事務局までご連絡ください。

■主催：独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター

■その他：本シンポジウムは、同時配信はありません。後日アーカイブをNCAR ウェブサイトに掲載予定です。

## 国立アートリサーチセンターの事業について

国立アートリサーチセンター（NCAR）は「アートをつなげる、深める、広げる」をキーワードに、国内外の美術館、研究機関をはじめ社会のさまざまな人々をつなぐ新たな拠点として、2023年3月に設立されました。これまでに、国立美術館のコレクションを活用した「コレクション・ダイアログ」、「コレクション・プラス」の開催館募集や、「ソーシャルストーリー」の発行などの事業に取り組んできました。

9月28日には、日本のアートに関するレファレンスツールの充足を目指し、日本のアーティストに関する総合事典「日本アーティスト事典（ベータ版）」を公開しました。公開後も情報をアップデートし、内容を充実させていきます。さらに10月8日（日）には健康とウェルビーイングに関するフォーラムを、10月28日（土）には作品の保存修復に関する講演会をそれぞれ東京で開催します。

## 国立アートリサーチセンター ウェブサイトのリニューアルについて

アートの魅力をより多くの人に知ってもらうため、9月28日にウェブサイト（<https://ncar.artmuseums.go.jp/>）をリニューアルし、さらなる情報発信に力を入れます。リニューアル後のサイトでは、NCARの活動紹介や活動レポートだけでなく、アートに関する多様な読み物や動画をお届けします。

掲載コンテンツ例：（9月28日公開）

- ① 動画シリーズ「ミュージアムが好き！」  
センター長の片岡真実が、芸術や文化に携わる方をゲストに迎えて対談。  
第1回のゲストはファッションデザイナーの皆川明氏。
- ② 連載企画「推しの逸品：コレクション・スポットライト」  
各地の美術館のスタッフが自館のコレクションの中から一推しの作品を紹介。  
第1回は高松市美術館です。

### <報道関係のお問合せ先>

『国立アートリサーチセンター』広報事務局（株式会社プラップジャパン内）

TEL 03-4570-2273 FAX 03-4580-9127

E-mail [ncar@prap.co.jp](mailto:ncar@prap.co.jp)

※営業時間：月～金 10時～18時（祝日・年末年始除く）